



クロスパン・フォト・レター

平成 27 年 6 月 30 日
第 2 号
長野県伊那北高等学校

「クロスパン・フォト・レター」は、伊那北高校の日常の様子を写真でお伝えすることで、本校の教育活動の一端を紹介し、進学を考える上での参考にさせていただければと、平成 21 年度から月 1 回程度のペースで発行しています。

第 61 回ペン祭—百花繚乱—

ペン祭実行委員長三好愛美さんのメッセージ

今年のペン祭のテーマは「百花繚乱」

伊那北生は準備の中でも笑顔や青春の花を咲かせてきたかと思います。しかし！ペン祭の3日間は今まで作ってきたものがすべて一気に花開きます。高校生の今だから作れるペン祭で、一生忘れることのできない思い出を作りましょう！第 61 回ペン祭ができるのは地域の方々、保護者、先生、OB・OG など、とても多くの方々のおかげです。感謝でいっぱいです。ペン祭に来たすべての人が伊那北生の咲かせた花を感じ、笑顔になれることを願っています。
(ペン祭パンフレットより)



生徒玄関前に設置されたてるてる坊主風の「ベイマックス」の威力で、一般公開が行われた 6 月 27 日(土)・28 日(日)は天候に恵まれ、約 2,500 名の方が正門アーチをくぐって来校されました。



生徒が約半年かけて制作した巨大な 3 面壁画が生徒玄関前と両脇の校舎に飾られ、来場者を迎えました。中庭に面する校舎の壁面にはクラスや部活企画を紹介する垂幕が並びました。



全校生徒が体育館に集まって行われる朝会から一日がスタートします。土曜日には、ヒマラヤ協会事務局長戸田裕子さんの講演会が行われました。渡り廊下に沿って並んだ15の出店には長い列ができ、大盛況でした。



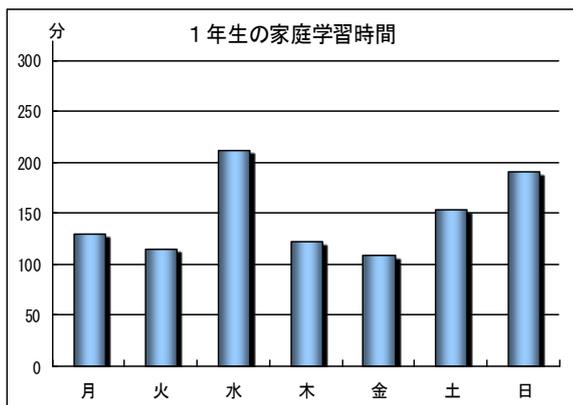
クラスや部活単位で展示発表が行われました。書道部は体育館で全身を使って書道パフォーマンスを披露、英語部は英語ディベートを、化学部は液体窒素などを使い様々な実験を実演しました。



一般公開期間中、体育館では音楽系クラブの発表が行われました。吹奏楽部、音楽部合唱班・弦楽班、軽音楽部、ダンス部が出演し、弦楽班は浴衣を着てバイオリンやチェロを奏でました。



最終日にはスポーツフェスティバルが開催され、クラス対抗の綱引きなどで熱戦が繰り広げられました。ファイナーレは弓道部の点火式で始まるファイヤーストーム、走って踊って青春を爆発させました。



データで見る伊那北高校

伊那北高校では、毎年家庭学習時間調査を実施しています。今年度の5月6日(水、休日)から12日(火)にかけて行われた調査では、1年生の曜日別家庭学習時間は左のようになりました。学力向上においては、むらの無い一定量の学習時間確保が必要です。

伊那北高校のHP (ホームページ)
<http://www.nagano-c.ed.jp/ina/>
 学校に対するご意見・ご要望は上記のHP内メール、または
 Tel.0265-72-2221(代表) 教頭 平澤までお願いします。